

## 平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 オプテックス・エフエー(株)

コード番号 6661 URL <http://www.optex-fa.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小國 勇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門統括

(氏名) 坂口 誠邦

TEL 075-325-2930

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	3,411	68.7	392	—	429	—	239	—
21年12月期第3四半期	2,021	—	9	—	△6	—	△54	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	9,625.18	—
21年12月期第3四半期	△2,185.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	3,338	2,416	72.2	96,811.30
21年12月期	2,640	2,240	84.7	89,714.19

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 2,412百万円 21年12月期 2,235百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	1,000.00	—	1,500.00	2,500.00
22年12月期	—	1,000.00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	1,500.00	2,500.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	57.1	500	8,827.9	550	—	320	—	12,843.15

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期3Q 24,916株 21年12月期 24,916株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 一株 21年12月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 22年12月期3Q 24,916株 21年12月期3Q 24,916株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成22年1月1日～9月30日）におけるわが国経済は、中国などのアジア経済の好調と輸出の回復に支えられ緩やかに回復してまいりましたが、円高懸念をはじめ景気持ち直しのペースの鈍化等、先行きの不透明ななか推移いたしました。

当社グループの属する制御機器業界におきましても、製造業を中心に企業の設備投資が活性化してきたことで、欧州、アジア地域において汎用機器が堅調に推移し、国内においても三品業界向けに加え、二次電池、液晶関連業界向けにアプリケーション機器が好調に推移しました。

このような経営環境の中で当社グループは、「高品質、だけど低価格。」を営業方針とし、光電センサ、画像センサ、LED照明の拡販、国内・海外での新規顧客の開拓、同業他社との協業など積極的な営業活動を展開するとともに、引き続き経費削減の実施に取り組んでまいりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、設備投資の回復に伴い34億11百万円（前年同期比68.7%増）、また利益につきましては、売上高の増加により営業利益は3億92百万円（同3941.3%増）、経常利益は4億29百万円（前年同期は6百万円の経常損失）、四半期純利益は2億39百万円（前年同期は54百万円の四半期純損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①財政状態の状況

##### （資産の部）

当第3四半期連結会計期間末の総資産の残高は、前連結会計年度末と比較して6億97百万円増加し、33億38百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1億16百万円増加し、また売上債権が3億75百万円増加したことによるものです。

##### （負債及び純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末の負債の残高は、前連結会計年度末と比較して5億21百万円増加し、9億22百万円となりました。主な要因は、買掛金が1億58百万円増加し、また未払法人税等が2億17百万円増加したことによるものです。純資産の残高は、前連結会計年度末と比較して1億76百万円増加し、24億16百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により2億27百万円増加、投資活動により42百万円減少、財務活動により68百万円減少し、期末残高6億93百万円と期首残高比1億16百万円増加となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、2億27百万円（前年同期は1億27百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加3億75百万円及びたな卸資産の増加1億81百万円より資金が減少しましたが、税金等調整前四半期純利益4億28百万円による資金の増加があったことによるものです。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、42百万円（前年同期は38百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得31百万円及び無形固定資産の取得に11百万円使用したことによるものです。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、68百万円（前年同期は1億11百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払62百万円によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、前回（平成22年10月22日付「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しております。）の業績予想より変更していません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

なお、当社は、平成22年9月10日に連結子会社である日本エフ・エーシステム㈱の株式を追加取得したことにより、完全子会社としております。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	693,016	576,712
受取手形及び売掛金	1,063,786	687,940
製品	268,236	163,148
仕掛品	44,347	6,340
原材料及び貯蔵品	85,814	47,677
繰延税金資産	51,051	15,730
その他	97,621	154,094
貸倒引当金	△310	△191
流動資産合計	2,303,563	1,651,453
固定資産		
有形固定資産	81,409	77,095
無形固定資産		
その他	48,934	48,980
無形固定資産合計	48,934	48,980
投資その他の資産		
投資有価証券	764,553	743,455
繰延税金資産	76,349	73,828
その他	64,529	46,787
貸倒引当金	△630	△630
投資その他の資産合計	904,801	863,442
固定資産合計	1,035,146	989,518
資産合計	3,338,710	2,640,971
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	309,189	150,927
1年内返済予定の長期借入金	—	6,378
未払法人税等	217,698	290
賞与引当金	49,264	11,018
役員賞与引当金	10,000	—
その他	194,445	111,152
流動負債合計	780,597	279,766
固定負債		
退職給付引当金	77,442	66,714
役員退職慰労引当金	63,961	54,204
固定負債合計	141,403	120,918
負債合計	922,000	400,684

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	546,525	546,525
資本剰余金	554,098	554,098
利益剰余金	1,306,104	1,128,573
株主資本合計	2,406,728	2,229,197
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,421	6,121
評価・換算差額等合計	5,421	6,121
新株予約権	4,559	2,698
少数株主持分	—	2,269
純資産合計	2,416,709	2,240,287
負債純資産合計	3,338,710	2,640,971

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,021,964	3,411,222
売上原価	1,154,000	1,948,284
売上総利益	867,963	1,462,937
販売費及び一般管理費	858,239	1,069,973
営業利益	9,723	392,964
営業外収益		
受取利息	3,159	2,165
受取配当金	147	148
技術指導料	3,600	3,600
保険解約返戻金	—	7,405
持分法による投資利益	—	22,351
その他	359	2,444
営業外収益合計	7,266	38,115
営業外費用		
支払利息	281	50
売上割引	1,028	1,625
持分法による投資損失	21,939	—
その他	365	196
営業外費用合計	23,615	1,872
経常利益又は経常損失(△)	△6,625	429,207
特別損失		
固定資産除却損	608	883
投資有価証券評価損	—	80
特別損失合計	608	963
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△7,234	428,244
法人税、住民税及び事業税	19,641	228,059
法人税等調整額	28,242	△37,366
法人税等合計	47,883	190,692
少数株主損失(△)	△672	△2,269
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△54,445	239,820



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△7,234	428,244
減価償却費	43,113	42,111
のれん償却額	187	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,320	38,246
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	10,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,782	10,728
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,757	9,757
貸倒引当金の増減額(△は減少)	126	119
受取利息及び受取配当金	△3,307	△2,313
支払利息	281	50
持分法による投資損益(△は益)	21,939	△22,351
固定資産除却損	608	883
投資有価証券評価損益(△は益)	—	80
売上債権の増減額(△は増加)	192,827	△375,845
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,925	△181,232
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,700	158,261
未収消費税等の増減額(△は増加)	40,582	△14,340
その他	△45,387	140,336
小計	284,823	242,734
利息及び配当金の受取額	2,307	1,930
利息の支払額	△281	△50
法人税等の支払額	△159,736	△16,708
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,111	227,905
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,868	△31,540
有形固定資産の売却による収入	—	368
無形固定資産の取得による支出	△17,312	△11,961
貸付けによる支出	△1,600	—
貸付金の回収による収入	—	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,780	△42,933
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△9,711	△6,378
配当金の支払額	△102,155	△62,290
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,866	△68,668
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△23,535	116,303
現金及び現金同等物の期首残高	676,983	576,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	653,447	693,016

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

当社グループの事業は、電子機器関連事業のうち産業機器用製品の開発、設計、製造、販売並びにこれらの付帯業務の単一事業であるため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）

	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	1,107,507	163,795	51,550	1,322,853
II 連結売上高（千円）				2,021,964
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	54.8	8.1	2.5	65.4

当第3四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年9月30日）

	欧州	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	2,083,764	312,526	52,875	2,449,167
II 連結売上高（千円）				3,411,222
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	61.1	9.2	1.6	71.8

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

欧州 …………… ドイツ

アジア…………… 中国、台湾、韓国

その他…………… 北米、中南米

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。